

はじめに

愛媛県総合教育センターでは、研修、研究、教育相談、学校支援の4事業を通じて、各学校の教育活動を支援しています。今年度、研修の分野に関しては、初任者研修やキャリアアップ研修などの基礎研修のほか、課題別研修・専門研修、センター職員が学校に向いて実施する出前講座を合わせると、7000名を超える教職員の皆さんが、本センター実施の研修に参加しておられます。

このような各研修をはじめ、各校や保護者の皆様からの教育相談を通して見えてきた教育課題があり、それらの解決に向けて、本センターでは、「未来を創造する力を育む学校教育への総合的な支援」の研究主題で、調査・研究に取り組んでまいりました。

このたび、その調査・研究の成果と、1年間の長期研修に取り組まれた先生の研究成果を、『教育研究紀要(第89集)』として発表させていただき運びとなりました。本書が、各学校における教育活動の充実に結びつくものとなることを期待します。

令和4年12月に出された中央教育審議会の答申において、「新たな教師の学びの姿」が示されました。「教師の学び」に求められているのは、「令和の日本型学校教育」における「子どもたちの学び」と同様に、個別最適な学び、協働的な学びを通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現です。

私たち教師は、教育活動を通して、研修等を通して、そして、子どもたちから、日々学び続けています。その学びをまた、教育活動に生かしていく、その教育活動によって子どもたちが成長する、子どもたちの成長を通して教師自身も成長していく、その積み重ねの中に喜びややりがいを感じながら、教師が学び続けていく。このような教育の在り方は、新しい時代に限ったことではなく、どの時代にも通じる普遍的なものであり、それが教育の理想的な循環なのではないかと思っています。

総合教育センターは、今後とも、学校現場の立場に立って、愛媛の子どもたちの「未来を創造する力」を育む教職員の皆様を支えてまいります。

最後に、研究協力学校の皆様をはじめ、本センターの調査・研究を進めるに当たり、多大な御支援と御尽力をいただきました全ての皆様に、厚くお礼を申し上げます。

令和5年3月

愛媛県総合教育センター所長 沖田 浩史